

IMGUメッセージ

2025年度 第11期(2025年度)

定期
本部大会
特別号

特集1

第11期前半年度の振り返りと
後半年度に向けて

4



特集2

第11期前半年度活動表彰

10



CONTENTS

2 本部執行委員長挨拶

14 組合役員&事務所紹介

3 第11期(2025年度)定期
本部大会の概要について

20 各政策担当からのお知らせ

4 第11期前半年度の振り返りと
後半年度に向けて

25 アンケートご協力をお願い





本部執行委員長 挨拶

三越伊勢丹グループ労働組合
本部執行委員長
菊池 史和

皆さま

日頃よりIMGUの活動に参画いただきありがとうございます。
今年度の「Be『I(One)MGU』～みんなで描く『ありたい姿』を実現しよう」というテーマで活動をスタートして、前半年度の1年間が経過しました。

先日開催された定期本部大会において、全支部の執行部のメンバーでこの1年間を振り返ると共に、後半1年間の方向性について議論を行いました。今回のIMGUメッセージでは、主にその内容についてご紹介しています。

特に、この1年間では、「職場課題改善活動(VOICE活動)のさらなる進化」を目指して、「各支部における取組み強化」と「複数の支部が連携したVOICE活動」に全支部で力を入れてまいりました。

中期経営計画に基づく戦略の推進に伴い、働き方が目まぐるしく変化していること、中でもグループ各社間の出向も過去と比較して多く生じていることから、各職場の特性や課題に合わせてきめ細かく改善活動を進めていくことの必要性が大きくなっています。

この一年間、各支部の執行部の皆さんを中心に精力的に取り組んで頂き、多くの支部で着実に改善が進んでいます。今回は、その一部の取組み例をご紹介しますので、ぜひご覧頂きたいと思います。

日本における労働組合の組織率は現在17%を下回っており、労働組合が存在しない企業の方が圧倒的に多い状況にあります。その意味では、まさに労働組合の存在意義が問われていると言っても過言ではなく、当然わたしたちも例外ではありません。常にわたしたちメンバーを取巻く環境や職場で生じている課題にあわせて、「何に」「どのように」取り組むべきかを考え、活動していくことが非常に重要だと考えます。

そのためには、「メンバーの皆さんの意見を聞き、職場における課題を的確に把握すること」そして、「課題解決のために組合役員とメンバー・組合役員同士・組合と会社とで議論を深めること」「取組み内容を皆で共有し、次の課題改善に繋げること」こそがまさに組合活動の全ての根幹であり、これがわたしたちのVOICE活動です。

そして、VOICE活動の推進には、組合役員の皆さんの協力とメンバーの皆さんの参画が必要です。職場をよりよくするためにも、VOICE活動への参画を改めてお願いいたします。

第11期(2025年度) 定期本部大会の概要について

三越伊勢丹グループ労働組合は2024年10月から1期2年間の活動期間で活動に取り組んでいます。今大会は中間の位置付けとして、前半1年間の振り返りと後半1年間の計画等について提案・審議を行っています。

定期本部大会議案

第1号議案 監査報告の件

第2号議案 第11期(2024年度)活動経過報告
および第11期(2025年度)活動計画(案)に関する件

第3号議案 第11期(2024年度)決算報告
および剰余金処分(案)に関する件

第4号議案 第11期(2025年度)予算(案)に関する件

第5号議案 組合規約および付属諸規定の改訂に関する件

第6号議案 第11期(2024年度)活動表彰に関する件



本部執行部から
第11期(2024年度)の活動や決算報告、第11期(2025年度)の活動計画や予算について
提案を行いました。



全国各支部から
大会代議員が集まり、
第11期活動の理解を
深める議論を行いました。



提案に対する質疑応答の末、
今回の議案は満場一致で
可決されました。

定期本部大会の
議案書はコチラ！



<https://members.imgu.or.jp/aa001/1197>

第11期前半年度の振り返りと後半年度に向けて

第11期本部運動方針テーマ

Be「I(One)MGU」～みんなで描く「ありたい姿」を実現しよう



前期までに進めた「VOICEサイクル」を中心とした
みんなで職場の課題を改善する活動のさらなる進化を目指して取り組みます。

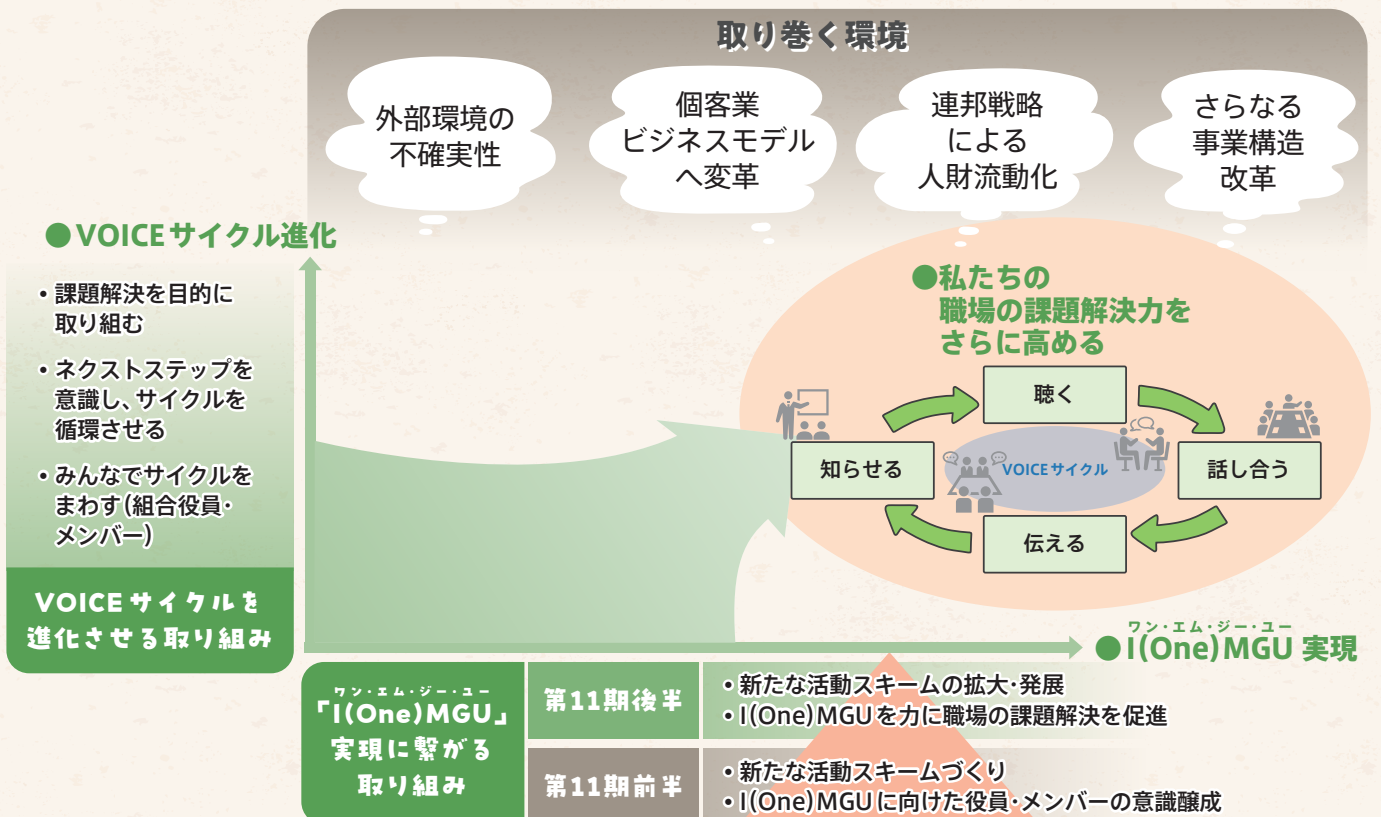
● 前半年度活動の振り返り(2024年10月～2025年9月)

第11期は、1つの労働組合として組織全体が一体となり支え合う「I(One)MGU」^{ワン・エム・ジー・ユー}を目指す姿とし、その実現により私たちの職場の課題解決力をさらに高め、ありたい姿の実現につなげる活動に取り組んでいます。前半年度は「I(One)MGU」の土台づくりを念頭に取り組み、その中では所属支部・事業会社の垣根を越えて、組合役員・メンバーが連携を図り、職場の課題解決に取り組む新たな活動スキームも進みはじめています。今後も環境変化を踏まえた各職場の課題解決に向けて、このような活動をさらに拡大・発展させていく必要があると考えています。

● 後半年度に向けて(2025年10月～2026年9月)

後半年度は環境変化や活動の振り返りを踏まえ以下の3つの重点ポイントをもとに活動に取り組めます。

- ①「I(One)MGU」^{ワン・エム・ジー・ユー}の推進
前半年度に作り上げた活動スキームの拡大・発展
「I(One)MGU」を力に職場の課題解決を促進
- ②「VOICEサイクル」の進化
VOICEサイクルは課題解決を目的に取り組む
ネクストステップを意識してサイクルを循環させる
メンバー参画を促し、取り組みの輪を広げる
- ③「構造改革への対応」を強化
新中期経営計画と構造改革の動向を注視する
本支部の連携を深め、経営対策の強化に取り組む



第11期分野別活動

前半年度の振り返りと後半年度に向けて

IMGUでは毎期の運動方針実現に向けて、様々な分野別活動に取り組んでいます。このページでは、分野別活動の振り返りと後半年度に向けたポイントを記載します。



1 経営対策活動

活動のポイント

- グループ経営に対するチェック&パイプ機能
- 支部労使間の対話促進と質の向上

前半年度の振り返り

- HDS経営懇話会については、2カ月に1回、年計6回実施。主にグループの中期経営計画や各月毎のグループの経営に関わるトピック、業績動向について確認、意見交換を行った
- 支部のサポートでは、新たに設置した「百貨店・関連支部所管」による労使関係の実態把握やサポート、一部支部では経営懇話会へのオブザーバー参加を行った

後半年度に向けて

- 各支部がHDS経営懇話会の情報やグループ労使のパイプを活用し、支部の経営対策へ活かす取り組みを推進する
- 支部の経営対策レベルの向上につながる機関会議、役員人材育成の機会提供に取り組む
- 構造改革の動向を注視し、HDS経営との対話、支部所管担当による支部労使の動向把握を進め、本支部が連携した経営対策活動に取り組む

2 組織政策・対外活動

活動のポイント

- 従前の枠組みにとらわれない組織内外をつなぐ活動の推進
- 海外店舗の従業員・組織(出向者以外の現地従業員・労働組合など)との接点、連携機会づくり

前半年度の振り返り

- 支部・事業会社の垣根を越えた職場委員会やテーマ別VOICEの開催、経営懇話会への参加など、環境変化を踏まえた職場の課題解決に向けて、新たな活動スキームによる活動が進みはじめた
- 本支部において、他労組との情報交換を通じた諸活動や労働政策の実現に繋がる知見の蓄積を進めた
- 新たに海外事業拠点であるマレーシアに訪問し、現地組織のマレーシア伊勢丹執行部との懇談会、意見交換を行った

後半年度に向けて

- 各支部において、職場の課題を解決する新たな活動スキームとして、支部・事業会社の垣根を越えた活動を推進する
- 他労組との情報交換を通じて得た知見をもとに、諸活動の改善、発展に繋げること、労働政策の具現化にも取り組む
- グループ事業会社において、組合の組織化を出来ていない会社の状況を確認し、早期に組織化を進める



マレーシア伊勢丹労働組合執行部との懇談会

第11期分野別活動

前半年度の振り返りと後半年度に向けて

IMGUでは毎期の運動方針実現に向けて、様々な分野別活動に取り組んでいます。このページでは、分野別活動の振り返りと後半年度に向けたポイントを記載します。



3

労働福祉活動

活動のポイント

- やりがい・働きがいにつながる人に関わる諸制度の構築
- 安心・安全に働き続けられる職場環境整備
- 取り巻く環境の変化への対応

前半年度の振り返り

- 2025年度春の交渉において、グループ共通でベースアップ算出式による金額を上回るベースアップの要求に繋がった
- グループ労使協議において、育児・介護などの法改正への対応や共通制度の改定を進めた
- 次年度協議へ向けて、総実労働時間のさらなる短縮に向けた新たな目標の検討・議論をスタートした
- また、労働政策の調査研究では、テーマを決めて他社事例の研究を行った

後半年度に向けて

- 2027年初の交渉以降に使用するグループ共通のベースアップ算出式、グループ戦略を踏まえた評価報酬制度などのあり方の協議・検討を行う
- 各支部労働福祉ビジョンの具現化へのサポートに取り組む
- 調査研究を活かし、グループ労使関係を強化することを目的とした「グループ労働協約」の締結へ協議を行う



HDS 労使協議会

4

政策・政治活動

活動のポイント

- 上部団体UAゼンセンの活動を通じた働く環境改善
- メンバーに政治をより身近に感じてもらう取り組みの推進
- 新たな政策実現につながる取り組みの調査・研究

前半年度の振り返り

- UAゼンセン組織内議員である田村まみ議員の応援・サポーター登録活動に取り組み、7月参院選における再選に繋がった
- また、田村まみ・川合たかのり議員への活動支援を通じた成果として、カスハラ対策法案(通称)の成立を果たした
- メンバーへは、HPをはじめ各広報を通じた情報発信に取り組んだ。また、活動を推進する本部役員・各支部書記長へは、定期的に身近な政策政治をテーマに勉強会を行った

後半年度に向けて

- カスハラ対策をはじめ、免税対策や年収の壁問題など、私たちの働く環境改善につながる政策実現に取り組むUAゼンセン組織内議員の活動の理解浸透に取り組む
- UAゼンセン組織内議員とのさらなる連携を通じ、グループ労使では解決できない課題の抽出、それらを伝え、意見交換できる場や仕組みづくりを検討する



田村まみ議員の応援・サポーター登録活動

第11期分野別活動

前半年度の振り返りと後半年度に向けて

IMGUでは毎期の運動方針実現に向けて、様々な分野別活動に取り組んでいます。このページでは、分野別活動の振り返りと後半年度に向けたポイントを記載します。



5

広報活動

活動のポイント

- IMGUの活動を広く報せるため、各種ツールを使い分けながらの積極的な情報発信と定着
- 発信内容の精査と工夫によるIMGUフォロワーのさらなる拡大

前半年度の振り返り

- ホームページ、LINE、X(旧Twitter)の各広報ツールについては、それぞれ改修や運用改善を進め、ツールの利便性向上と利用者の増加につなげる取り組みを継続して行った
- 広報誌は年2回発刊し、運動方針や活動の理解浸透を図るとともに、第11期方針を踏まえ支部の垣根を越えた活動や交流の内容を中心に特集を行った

後半年度に向けて

- ホームページ、LINE、Xについては、各広報ツールの改善と発信力の強化に継続的に取り組む
- 本部広報誌はアンケートや各支部からの意見を踏まえ、内容を検討する。また、新たに基本的な組合活動や福利厚生を紹介をまとめた「組合員ハンドブック」の発刊を進める
- 組合活動に親しみと関心をもつ機会づくりとして、マスコットキャラクター「イングちゃん」を活用したキャンペーンや情報発信に取り組む



本部広報誌「IMGUメッセージ」

6

ダイバーシティ推進

活動のポイント

- 育児・介護・疾病などの事情を抱えるメンバーの両立支援
- 「ダイバーシティ推進」そのものに対する理解浸透
- 労働福祉担当と連携した調査・研究と情報提供

前半年度の振り返り

- 介護個別相談会を年2回開催し、介護に関わる様々なメンバーの不安解消を進めた
- 昨年更新した「疾病サポート百科」などをグループ内のステージAに配布し、サポート百科活用を促す取り組みを進めた
- ダイバーシティ & インクルージョンに関する職場理解、情報発信として、メンタルヘルスに関わる情報発信を新たにスタートした

後半年度に向けて

- 組合HPへのコラム投稿や過去の勉強会動画の再発信等によるダイバーシティ & インクルージョンの理解浸透に取り組む
- 法改正やグループ共通制度改定の内容を踏まえた「介護サポート百科」の更新や、継続した「介護個別相談会」開催等の情報提供に取り組む
- 他企業の取り組み事例等の調査研究に継続して取り組む



介護個別相談会

第11期分野別活動

前半年度の振り返りと後半年度に向けて

IMGUでは毎期の運動方針実現に向けて、様々な分野別活動に取り組んでいます。このページでは、分野別活動の振り返りと後半年度に向けたポイントを記載します。



7

メンバー教育

活動のポイント

- ・「ライフキャリアプランセミナー」のブラッシュアップ
- ・これまでのコンテンツを活用した学びの機会の提供
- ・メンバーの学ぶ意欲をサポートするための活動

前半年度の振り返り

- ・労使共催のライフキャリアプランセミナー(30歳・40歳・50歳の集合教育)については、2025年度の開催に向けて、前年度の参加者アンケートを踏まえ、カリキュラムの変更を進めた。特に50歳対象では、これまで以上に定年後の人生設計を考える内容へ変更を進めた
- ・自己啓発支援制度については、メンバーの利用を促す情報発信や、利用のしやすさを高める申請のポイント発信などを行った

後半年度に向けて

- ・ライフキャリアプランセミナーについては、2025年度の内容を参加者アンケートなどをもとに振り返り、対象毎のニーズを踏まえた内容を労使で検討する
- ・メンバーの関心が高いマネーについての情報をはじめ、健康や共済会などの情報をHPや会社と連携しながら提供する
- ・自己啓発支援制度は、利用者の声や実績の共有化を通じ、さらなる制度理解、認知度を高める取り組みを進める



労使共催「ライフキャリアプランセミナー」

8

社会貢献活動

活動のポイント

- ・愛の募金活動を軸とした支援活動の取り組みと、災害発生時への速やかな対応
- ・この先の東北復興支援活動のあり方について検討

前半年度の振り返り

- ・東北復興支援活動については、新たな活動の形を見据え、上部団体のUAゼンセンが取り組むオイスカの活動ヘトライアル参加を進め、今後のメンバー参加を検討した
- ・フードドライブ活動や愛の募金活動については、活動の継続性を重視し、本部広報誌や各支部と連携したメンバーへの周知に力を入れて取り組みを進めた

後半年度に向けて

- ・東北復興支援活動は、前年年度のトライアル参加を踏まえ、UAゼンセン企画を中心に、メンバーに対して募集、参加が出来る体制を構築する
- ・愛の募金活動やフードドライブ活動については、夏・冬を目途に継続実施をするとともに、通年で参加いただける告知等の仕組みづくりを行う
- ・その他、百貨店拠点を中心とする地域の環境美化活動については、各地の活動把握とともに本部としての活動の方向性を整理、検討する



UAゼンセン「オイスカ海岸林再生プロジェクト」

第11期分野別活動

前半年度の振り返りと後半年度に向けて

IMGUでは毎期の運動方針実現に向けて、様々な分野別活動に取り組んでいます。このページでは、分野別活動の振り返りと後半年度に向けたポイントを記載します。



9

レクリエーション活動

活動のポイント

- 共通イベントや、首都圏活動委員会・地域支部活動をつうじた支部間交流推進による、グループで働く仲間の一体感醸成
- 職場親睦会補助制度による職場内の懇親機会提供

前半年度の振り返り

- 全国のメンバーが共通参加できるイベントとして、前期に続き「IMGUボウリング大会」を開催した
- 全国の予選会には総勢466名が参加、9月には全国大会を開催し16チームが出場、各拠点や支部・事業会社を超えた交流も図った
- 首都圏では、毎年恒例で12月には「お正月飾りワークショップ」の開催、その他に職場親睦会補助制度の利用促進に取り組む、身近な職場や従業員同士の交流機会の促進を進めた

後半年度に向けて

- 後半年度も全国のメンバーが共通参加できるイベント開催を検討する
- 首都圏では、年2回の「大人の社会科見学ツアー」の開催等にも取り組む。また、メンバーが行うクラブ活動紹介をつうじ、交流を促す機会をつくる
- 首都圏以外にも、各エリアで地域百貨店支部が主体となって開催する各種イベントについて、同一エリアで働く他支部メンバーに広く周知し、参加や交流を促す取り組みを進める



IMGUボウリング大会

10

役員人材育成

活動のポイント

- 専従役員を中心とした教育カリキュラムのブラッシュアップと主体的な学びや支部活動と連動した人材育成の実現
- 兼任役員に必要な知識・スキルの見極めと、教育サポート

前半年度の振り返り

- 運動方針のポイントである「VOICEサイクル」の精度を高めることを念頭に組合役員の人材育成を進めた。特に、課題解決力の向上を図るカリキュラムを中心にユニオンスクールを定期開催した
- 専従、兼任に関わらず組合役員活動の基礎づくりへ「組合役員知識チェックシート」や「組合役員基礎講義動画」の視聴環境整備と活用を促し、知識・スキルの向上を図る機会づくりを進めた

後半年度に向けて

- 定期開催するユニオンスクールで、引き続き運動方針のポイントとその実現につなげる課題解決スキルの向上に取り組む
- また、労使協議につながる労使関係の構築や対話のスキル向上についてもカリキュラムを検討し進める
- 「組合役員基礎講義動画」や「ユニオンスクール」をはじめ、活動力を高めるために、専従、兼任に関わらず、組合役員が自発的に学べる環境づくりと動機付けに取り組む



ユニオンスクール

大会代議員から質問・意見



三越伊勢丹支部
阪根さん

質問

運動方針の進捗について

第11期前半年度の振り返りと後半年度の方針、分科会を通じた各支部の活動状況を聞いて、IMGUの活動の全体感がとても良くわかりました。このような場が定期大会以外にも適宜あると良いのではないかと思います。組合本部としてはどのように考えていますか。

回答

本部大会以外にも、毎年4月に開催される本部評議員会で中間確認の機会を設けていますが、さらに充実させる方法は今後も検討していきます。各支部同士が活動を共有し、新たな気づきを得ながら自支部の活動をさらに発展させる機会を作りたいと考えています。



本部書記長
玉谷さん



エムアイフードスタイル支部
山崎さん

質問

I(One)MGUの取り組みについて

関連支部同士では支部の垣根を超えた交流の機会があり、自分自身も新たな気づきにつながりました。このような活動は今後も継続、発展していくのでしょうか？

回答

支部の垣根を超えた交流については引き続き推進していきたいと思えます。その上で目指す姿としては、交流だけに留まらず、I(One)MGUを通じた新たな職場の課題解決までつなげていきたいと思っています。本部としても各支部への積極的なサポートを行っていきます。



松山三越支部
松江さん

質問

支部経営懇話会への本部役員の参加について

支部の経営懇話会へのオブザーバー参加について記載されていますが、どのような位置付けで取り組んでいるのでしょうか？

回答

支部の経営懇話会への参加については、本部はあくまでオブザーバーとして参加しています。終了後、執行部に労使関係や対話活動に関するフィードバックをすることもあります。また経営懇話会に限らず第11期は本部所管担当をつうじて定期的に支部との連携を図りサポートに取り組んでいます。



三越伊勢丹支部
池内さん

意見

政策政治活動について

カスタマーハラスメントについての意見です。三越伊勢丹グループでもカスハラに対応するためのガイドラインが発信されています。しかしながら、本当に大切なのは現場に寄り添った具体的なサポートだと思います。労働組合としても会社に対してしっかりと働きかけをしていただけるようお願いいたします。

回答

労使のカスハラへの対応としては、グループハラスメント防止委員会でも協議をしています。ガイドラインの発信に加えて、今後さらに現場で実効性のある取り組みを進められるよう、具体的な方策について意見交換を進めます。また、カスハラに関わる対応として、一部店舗ではネームプレートの表記を見直すトライアルを始めるなど、新たな取り組みも進んでいます。

前半年度活動表彰

第11期前半年度の活動を振り返り、各支部からIMGUとして表彰すべき活動のエントリーを募集しました。全国から集まった応募の中から最優秀賞・優秀賞を選出しました。

最優秀賞

関連グループII支部
スタジオアルタ直轄分会

取り組み概要

出向者を含む複数支部合同で「職場環境改善 MTG」を月2回開催し、共通する職場環境課題を支部の垣根を越えて議論しています。各支部の兼任役員が輪番で運営し、社内チームスに「ご意見BOX」や「みんなの組合」チャンネルを設置し声の収集と周知を実施しました。安全衛生委員会等へ声を届け、企業側との協議で具体的対応を促進しました。

取組のポイント:「I(One)MGU」の実現に向けた支部の垣根を越えた活動

スタジオアルタは業容の拡大と共に在籍者の大半がグループ内各社からの出向者となっています。出向者を含めた144名の全てのメンバーが活躍できる職場環境を実現するため、支部の垣根を越えた活動・処遇改善が求められており、スタジオアルタに関わる各支部の執行委員が自発的に取り組みを進めていきました。

具体的には「職場環境改善 MTG」を定期的実施し各支部役員が輪番でファシリテーターを担いました。改善要望として、ネット環境の改善、トイレなどの衛生環境の改善、スライドシフトの拡充などをアルタ経営陣に提言しました。出向者の働き方についても実態の把握と実態に即した勤怠管理を現場課題としてお伝えしました。結果として改善につながった事項はチームスを通じて出向者を含む全員に共有されています。

アルタに関わる全員で「I(One)MGU」の実現を目指した取り組みが評価され、最優秀賞に選出されました。

受賞のコメント

中村則一さん

最優秀賞受賞には正直驚きました。

スタジオアルタ組合役員を取組を推薦したいと最初聞いた時は、選考における数合わせ程度の認識で深く考えてなく、我々も模索しながら進んでる現状だったので相応しいのか戸惑いました。実際、私は浦和店のカスハラへの取組に票を投じましたが、この受賞結果は4支部の組合役員が「あるべき姿」に向かって踏み出してる事が評価されたのかなと解釈してます。引き続きもっと頑張ります！

名村早耶香さん

役員の方々の投票をいただいて最優秀賞をいただけたこと、大変励みになりました。また、ほかの支部分会の方の活動も大変参考になりましたし、良い刺激をいただけました。ノミネートされた方も、きっと素晴らしい活動をされていたのだと思います。我々の活動も、皆さまの心に届くようなものであったらいいなと思います。スタジオアルタは議論すべき課題がまだまだあると思っていますので、最優秀賞のプレッシャーを感じつつ(笑)、引き続き頑張ります！

対象者（役職）

支部名	役職名	名前
三越伊勢丹支部 (本社周辺分会)	執行委員	中村 則一
	評議員	室井 正美 堀江 藍
	職場委員	秋場 ゆみえ 角野 亜希子
エムアイカード支部	評議員	安藤 麻実
三越伊勢丹 ニッコウトラベル支部	執行委員	名村 早耶香
関連グループ支部II スタジオアルタ直轄分会	職場委員	小垣内 優子
		大町 朋也
		田中 卓



前半年度活動表彰

優秀賞

北海道統括支部
函館丸井今井直轄分会

取り組み概要

職場における「対話文化」の定着を目指し、VOICEサイクル(聴く→話し合う→伝える→知らせる)を体系的に兼任役員が主体的に運用しました。テーマ別VOICEやMTGで課題抽出を行い、経営層との“ミニ懇話会(計3回の懇話会)”での議論、改善案までを一連の流れとして実施しています。広報誌で活動を可視化することで、メンバーとの対話を展開しています。

対象者(役職)

- 分会評議員兼職場区リーダー
白川 智也さん、樋爪 智之さん
- 分会評議員
米坂 操さん



優秀賞

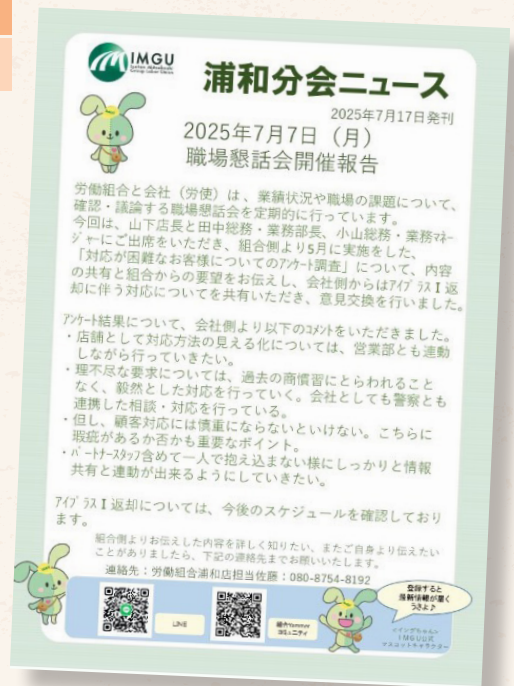
三越伊勢丹支部
浦和分会

取り組み概要

浦和伊勢丹ではメンバーから「カスタマーハラスメント」の対応に苦慮しているという声が寄せられていました。実態把握のため、組合支部執行委員主導でアンケート調査を実施し、136名から回答を得ました。集約・分析したアンケート結果を基に、職場懇話会で組合としての要望をお伝えし、会社側からも具体的な行動につながる回答をいただきました。実際に具現化につながる様、引き続き会社側への確認を行っていきます。

対象者(役職)

- 支部執行委員
井上 亮さん、田島 峻一郎さん



■組合からの要望

- ①発生時の対応について
- ・店舗としての対応の統一化
→浦和店としてのガイドラインの作成及び浸透
→各自の役割分担、報告、相談体制の見える化(総務・安全管理・金パッチの役割)
→出来る限り早いタイミングでシャットダウンできる仕組み

その他の表彰エントリーについても感謝状が贈られました。

北海道統括支部 札幌丸井三越支部

取り組み概要

「心理的安全性」「キャリア形成支援」「安心・安全な職場環境」の3テーマ毎に、執行委員による活動委員会を編成し、VOICEサイクルに取り組みました。職場懇話会を中心に経営との対話を通じて、改善提案を実施。広報(広報誌、Teams等)で活動内容の周知まで行いました。

対象者(役職)

副執行委員長	長谷田 皓平さん、秋政 渉さん
書記次長	大野 康平さん
執行委員	中村 健志さん、谷脇 直幸さん、大塚 理奈子さん、石井里実さん、田代 桃子さん、風林 弘紀さん、井利元 康代さん、若狹 伸悟さん

名古屋三越支部

対象者(役職)

支部執行委員	小縣(加藤) 未来さん
--------	-------------

取り組み概要

職場委員会や働き方担当として現場課題の抽出から会社提言、メンバーへの周知までを実行しました。星ヶ丘店の洗面台の混雑など、現場実態に基づく課題を安全衛生委員会で取り上げ、改善案を提案することで具体的な施設改善につなげました。

岩田屋三越支部

対象者(役職)

書記次長	大門 由美子さん
------	----------

取り組み概要

執行委員として多くの機関会議、労使会議、外部交流、ボランティア活動など幅広く参加・運営。新任役員向け勉強会の企画・運営を複数回実施し、役員育成に貢献しました。職場委員会の運営・ファシリテーターを担い、職場委員との対話を通じて多くの課題解決につなげています。

エムアイカード支部

対象者(役職)

支部副執行委員長	山崎 喜美子さん
----------	----------

取り組み概要

兼任役員主体の支部運営に転換する中、兼任役員のリーダーとして支部活動を推進しました。VOICE参加率向上のため徹底した声かけを実施し、エリアVOICEや労使協議にも兼任代表として積極的に参加しました。

三越伊勢丹システム・ソリューションズ支部

対象者(役職)

取り組み概要

役員間の関係性強化のため、支部評議員会の冒頭に「ななめ1on1」を導入しました。毎月、ランダムに組んだペアで20分間、業務外のことも含めて自由に話すことでお互いの理解が深まり安心感が高まりました。議案に関する活発な意見交換につながっています。

支部執行部 兼任役員	黒田 祐輔さん、藤本 賢太さん、前島 珠美さん、堀 あゆ美さん、小林 知実さん
支部評議員	岩佐 亜美さん、佐藤 高史さん、池田 元則さん、小川 夏季さん、崎元 和也さん、小西 幸子さん、金田 淳一さん、渡邊 京さん、橋谷田 優花さん、志賀 舞子さん、村上 万由子さん

エムアイフードスタイル支部

対象者(役職)

取り組み概要

起案から運営までを全て自前で行うセミナーを企画・実施(社内講師による「お肉セミナー」2回開催)しました。外部講師にお任せではなく、社内の知見を活かした参加型カリキュラムで知識向上とつながりを促進しました。今後は動画配信等で更に周知させ、メンバーとの接点を拡大することを計画中です。

執行部 教育チーム ※全員執行委員	山崎 明さん、伊藤 剛さん、國分 貴博さん、長島 稔さん、金子 将聖さん
-------------------------	--------------------------------------

執行部&事務所紹介

本部四役 + H&I事務所紹介



後列左から益田直哉、川原林尚子、内田高史、
村石正宏、田中明宏、山口善崇、国岡真哉
前列左から玉谷謙一朗、小山満代、菊池史和、太田みゆき

第11期の本部四役（執行委員長、副執行委員長、書記長、書記次長）は、合計11名が役割を担っています。
本部運動方針に基づき、IMGU全体の組織運営をはじめ、HDS経営との対話活動やグループ全体に関わる共通制度等の労使通年協議、また各支部と連携を図り、運動方針の遂行や支部労使通年協議等へのサポートを行っています。



H&I事務所



後列左から鳥越照子、塩田朝子、立川悠
前列左から原忍、白根芳恵、内山敦子

新宿三丁目駅から徒歩5分。
首都圏支部の拠点で、労働組合の本部です。
各種申請やご相談など お気軽にお立ち寄りください！

〒160-0022
東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1F
TEL 外線03-5273-5165
内線801-23-911

●組合受付時間
月～土
10:00～18:00

共済会本部

労働組合のお隣に事務所を構える三越伊勢丹グループ共済会は事務局長を含む9名のスタッフが在籍し、会員の皆さまが安心して働けるように日々サポートしています。いつでもお気軽にご相談ください！

〒160-0022
東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1F
TEL 外線03-5273-5139
内線801-23-914

●共済会受付時間
10:00～18:00
(木曜・日曜・年末年始は休みです)



後列左から
木暮洋司、清水伸子、大本幸恵、飯倉利恵、佐藤亮子
前列左から
青木正子、斉藤千絵、大池美子、堀之内和文

執行部&事務所紹介

関連支部紹介

エムアイフードスタイル支部



今期は、【知る】【つながる】をキーワードに、“働きやすさ”と“働きがい”の向上を目指しています。情報共有や交流機会を通じて、メンバー同士が意見を出し合い、認め合い、支え合いながら働く環境をつくっていきます！
一人ひとりのつながりが、安心・安全な職場づくりの力になります！

エムアイカード支部



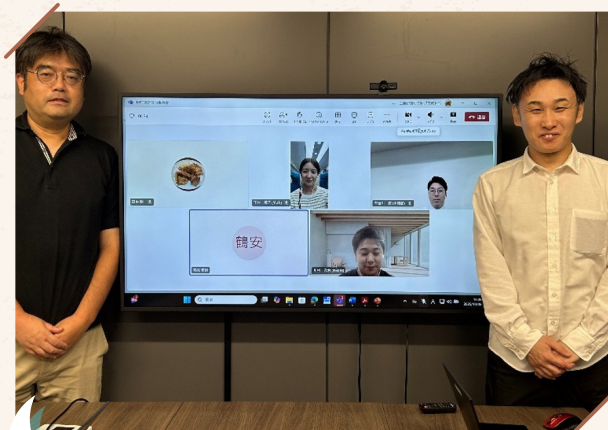
エムアイカード支部では、「自分らしく働ける会社」を目指して、執行部一丸となって“現場活動”に力を入れています！
ちょっとしたお困りごとや「ちょっと聞いてほしいな」ということがあれば、ぜひお近くの執行委員にお声がけください。
キラキラ笑顔で、全力対応いたします★
一緒に、働きやすい職場をつくっていきましょう！

三越伊勢丹 ビジネス・サポート支部



第11期後半年度も、「答えは私たち一人ひとりが持っている！」をIMBS支部のテーマに、全国にいるメンバー一人ひとりの声を細かく拾えるようにしていき、その都度で声が聞ける体制をつくっていきます。
執行部も一丸となり、今まで以上にVOICEサイクルを強化し、職場委員会やメンバーズVOICEをとおして、メンバー全体へ組合活動の輪を広げていく活動を行っていきます。

三越伊勢丹 プロパティ・デザイン支部



IMP D支部の執行部は、専従が2名、兼任が4名の合計6名体制で活動をおこなっています。毎月の支部執行委員会での活発な議論はもちろんの事、職場委員会の運営も兼任執行委員がおこなうなど、日々活動をおこなっています。

関連支部紹介

三越伊勢丹システム・ソリューションズ支部



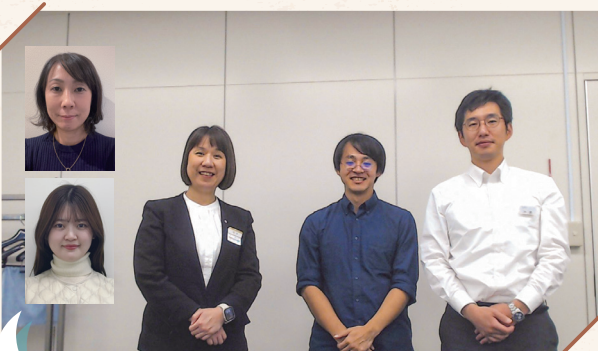
11 期後半年度にさしかかり、ビジョンとして掲げる「ともに磨き、ともに輝き、IMS の未来を創る」の実現にむけて、これまで培ってきた支部の役員を中心とした「関係性の力」を形にするフェーズに入ります。議案を持ってみなさまのもとに伺いますので、よろしくお願いします！

三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ支部



メンバーとの接点の構築を重視しており、リアル・リモート VOICE などできる限りの場を設けていきます。そして、その為の重要な役割を担っているのが、現場にいる兼任の執行委員・評議員と職場委員です。情報交換・共有をすることで、みんなで、働き甲斐や安心感が持てる会社を目指していきたいと思います。

三越伊勢丹ニコウトラベル支部



三越伊勢丹ニコウトラベル支部（MINT 支部）では、「ここで働くことで、自分の人生を充実なものにできている」と、メンバー全員が実感できる環境に向けて活動しています。皆さんの声を基に取り組みを進めていきますので、組合 HP や LINE の配信などをチェックして、ぜひご意見をお寄せください。

関連①レオテックス／センチュリートレーディングカンパニー／アイムデジタルラボ／三越伊勢丹健康保険組合



関連1 支部は4つの会社・組織を担当し、メンバー約100名。委員長・書記長の2役体制＋評議員や職場委員と協力しながら活動しています。最大の強みは“メンバーとの直接対話”です。VOICE 活動をフル回転させ、支部運動方針の『傾聴する・受容する・共感する』をメンバーへ周知していきます。



関連②三越伊勢丹ギフト・ソリューションズ／スタジオアルタ／三越伊勢丹ソレイユ

今年度も引き続き、みんなが主役で活躍している職場を実現する活動を進めていきます。その第一歩として“いつでも”“どこでも”“だれにでも”あいさつをしてお互いを認め合う職場にしたいと思います！

関連支部紹介

三越伊勢丹支部



三越伊勢丹支部では「メンバー一人ひとりの幸せのため、個の想いを大きな力へ変えていこう」をテーマに、メンバーの声に丁寧に耳を傾けながら、働く環境の改善に取り組んでいます。ぜひ、日々感じていることや気づいたことを、気軽にお伝えください。特に、身近な兼任役員にもお知らせいただくと嬉しいです。みなさんの声をお待ちしています！

札幌丸井三越支部



函館丸井今井直轄分会



札幌丸井三越支部では、『ありたい未来の実現へ、みんなの声を「とどける」・「つなぐ」』をテーマに、執行部がVOICEサイクルを推進し、働きやすい職場づくりを目指しています。社内制度や働く環境の疑問・相談は気軽に兼任役員・組合事務所までお知らせください♪



函館丸井今井直轄分会では、対話とつながりをテーマに兼任役員（職場区リーダー（写真上部）・評議員）、書記局が力を合わせて活動しています。事務所は、対話の場として幅広く利用されています。話すことで見えてくることも。たくさんの声を、ぜひ聴かせてください♪

●札幌丸井今井

〒060-0061
北海道札幌市中央区南一条西2丁目
丸井今井札幌本店西館2F
TEL 外線011-205-2525
内線817-22525

●共済会受付時間
月～日10:00～18:00

●札幌三越

〒060-8666
北海道札幌市中央区南一条西3-8
札幌三越内一銀ビル5F
TEL 外線011-222-8536
内線817-33800

●共済会受付時間
月・水・金11:00～17:00

●函館丸井今井

〒040-8701
北海道函館市本町32-15
丸井今井函館店2F
TEL 外線0138-32-1033
内線892-1033

●共済会受付時間
月～日10:00～18:00

関連支部紹介

仙台三越支部

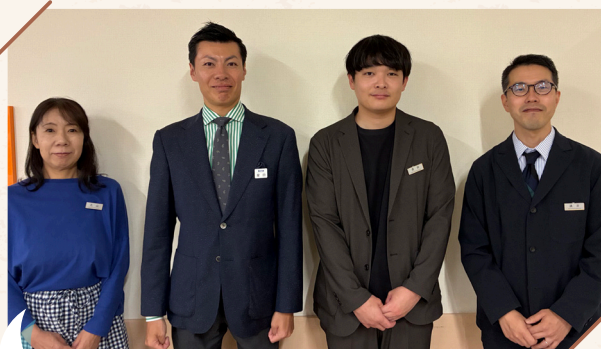


仙台三越支部では、『実感』をキーワードにVOICEサイクルを元にした様々な組合活動をおこなっております。労働組合事務所は定禅寺通り館6階にあり、共済会の申し込みや、制度・業務におけるご相談などご利用いただいております。休憩スペースもございますので、お気軽にご来所ください！

〒980-8543
宮城県仙台市青葉区一番町4-8-15
仙台三越定禅寺通り館6F
TEL 外線022-261-3185
内線875-2673

●共済会受付時間 10:00～15:30

新潟三越伊勢丹支部



新潟三越伊勢丹支部では、組合員の皆さんの「ありたい姿」の実現に向けて、「VOICE活動」「広報活動」「レク・教育活動」に力を入れています。新しい活動をどんどん提案していきますので、是非ご参加いただくとともに、ご意見もお寄せください。よろしくお願いたします！

〒950-8589
新潟県新潟市中央区八千代1-6-1 新潟伊勢丹7F
TEL 外線025-243-7566
内線807-2251

●共済会受付時間 月、火、水、金、土 10:00～17:45

静岡伊勢丹支部



静岡伊勢丹支部では「働きがい・働きやすさ」の実感できる環境づくりの実現に向けて活動しています。組合のHP・LINEでは、皆さんの生活に関わる重要な内容を発信しています。LINEのお友達登録しておくくと便利にチェックできます！組合事務所は休憩も出来ますので、お気軽にお越しください♪

〒420-0031
静岡県静岡市葵区呉服町1-7 静岡伊勢丹別館2F
TEL 外線054-252-9825
内線811-2660

●共済会受付時間 不定休 10:00～18:30

名古屋三越支部



名古屋三越支部では、「1人ひとりのよさを発揮し、楽しみながら挑戦できる会社」を目指していきます。そのために、組合役員とメンバー全体を巻き込んだ活動を実施します。HP・LINEで支部活動などを発信しているので、ぜひご覧ください。LINEのお友だち募集中です！

〒460-8669
愛知県名古屋市中区栄3-5-1 名古屋三越栄店6F
TEL 外線052-252-1661
内線820-1661

●共済会受付時間 不定休 10:00～17:00

関連支部紹介

広島三越支部



広島三越支部は11期、「ぶち progress ~全員でやるんじゃけえ~」をスローガンに日々組合活動に取り組んでいます。組合事務所は8階従業員食堂のすぐ傍にあります。用があってもなくても、お気軽にお立ち寄りくださいませ。お待ちしております。

〒730-8545
広島県広島市中区胡町5-1 広島三越8F
TEL 外線082-242-3259
内線834-541

●共済会受付時間 月、火、木、金10:30~15:30

高松三越支部



こんにちは、高松三越支部です！アネックスビル4階にあります。お昼休みや休憩時間をつかって、気軽に立ち寄ってくださいね♪用事がなくても、一息つく場所としてもご利用ください！

〒760-8639
香川県高松市内町7-1 高松三越アネックス4F
TEL 外線087-825-0848
内線840-2083

●共済会受付時間 不定休 10:00~17:00

松山三越支部



松山三越は大規模リニューアルから5年がたち地域の皆様に必要とされる店舗として成長してきました。組合メンバーの数こそ多くはありませんが自分たちのお店をよりよくしようとする気持ちは人一倍だと思っています。組合役員も全員が兼任の体制ですが、兼任だからこそメンバー目線を生かし日々の活動にあたっています。これからも少数精鋭でグループメンバーとの距離が近い組合を目指し頑張っていきます。

〒790-8532
愛媛県松山市一番町3-1-1 松山三越B2F
TEL 外線089-934-8876
内線840-4582

●共済会受付時間 不定休 10:00~17:00

岩田屋三越支部



組合活動は「みんなでつくるが活動の基本」(←岩田屋三越支部第11期運動方針より)。組合員の皆さんの参画が重要です！まずはお近くの組合役員・委員にぜひ皆さんの声をお聞かせください。新しくなった組合事務所にも気軽にお立ち寄りいただけるとうれしいです♪

〒810-8680
福岡県福岡市中央区天神2-5-35 岩田屋本店新館7F
TEL 外線092-712-6870
内線815-4451

●共済会受付時間 不定休 10:00~18:00

東北復興支援 活動報告



IMGUでは、2011年の東日本大震災以降、継続して東北復興支援活動に取り組んできました。第11期前半年度では、震災から10年以上が経過し、現地の状況も変わりつつある中で、あらたな活動の形を検討してきました。そのような中、今回は、上部団体のUAゼンセンが企画する宮城県名取市の「海岸林再生プロジェクト」に参加してきました。この活動は、震災で大きな被害を受けたクロマツの海岸林を再生するプロジェクトで、※公益財団法人オイスカが主体となり、UAゼンセンがこの取り組みに賛同することで、加盟労組の組合員を対象とした企画となります。IMGUからは、5月30日(金)と6月27日(金)の2回の行程に、各支部から参加を希望した執行委員として、合計9名が参加しました。

実際の活動としては、オイスカのスタッフ指導の下、成長過程にあるクロマツの苗木に、絡みつく葛^{クワ}を根元から刈り取ることが主な作業となります。

但し、葛の根元を辿ると、それが何メートルも先にある場合は、松林の中を這って進まなければならない、葛が大量に繁殖している事もあり、思ったよりも大変な作業でした。

また、刈り取った切り口には、除草剤を噴霧することで、葛が再度、成長しないようにも対処します。

大変な作業ではありましたが、積み上がった大量の葛を見ると、非常に達成感のある充実した活動でもありました。



葛の刈り取り作業をする
IMGUの参加者



オイスカのスタッフの説明を聴く参加者



作業により刈り取った大量の葛

名取の海岸林の歴史は古く、伊達政宗公が治めていた約 400 年前に、農地の開墾に合わせて、クロマツの造成もおこなわれたそうです。

その当時から、防風や防砂などの効果を発揮し、作物や人々の暮らしを守ってきた海岸林ですが、津波により壊滅的な被害を受けました。

再生に向けオイスカの計画では、約 100ha の土地に、クロマツの苗木約 50 万本の育苗・植栽がおこなわれています。但し、海岸林が震災前の元の姿に戻るまでには、約 30 年の年月が必要という事で、クロマツが順調に生育する為のこの取り組みは、今後も続くものと思われます。

IMGUとしては、今後、この活動に対して、希望する一般のメンバー（組合員を想定）が参加できる体制を検討していきたいと考えています。



広大な土地に植えられたクロマツの苗木



UAゼンセン加盟労組からの参加者の皆さん

※公益財団法人オイスカとは (<https://oisca.org/about/>)

オイスカ・インターナショナル (The Organization for Industrial, Spiritual and Cultural Advancement-International) は、「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指して 1961 年に設立されました。本部を日本に置き、41 の国と地域で活動を展開する国際 NGO です。

公益財団法人オイスカ（以下、オイスカ）は、1969 年にオイスカ・インターナショナルの基本理念を具体的な活動によって推進する機関として生まれ、主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開しています。特に、人材育成に力を入れ、各国の青年が地域のリーダーとなるよう研修を行っています。オイスカの研修を修了した各国の青年は、それぞれの国で農村開発に取り組んでいます。国内では、農林業体験やセミナー開催などを通しての啓発活動や、植林および森林整備による環境保全活動を展開しています。

2025年 IMGU ボウリング大会を開催しました



2025年4月から全国のメンバーを対象にボウリング大会を実施しました。各支部大会の優勝チームや個人でエントリーし上位入賞した16チームが高田馬場グランドボウルに集まり決勝大会を開催しました。

4月から全国で予選大会を開催しました

グループで働く全従業員を対象に、各支部で予選会を開催し448名の方に参加頂きました。今回は3名1チームで2ゲームをおこない、チーム合計スコアで競いました。※各支部予選会の様子は組合HPにて紹介しています。

三越伊勢丹

<https://members.imgu.or.jp/aa001/42518>



地域百貨店各社

<https://members.imgu.or.jp/aa001/42529>



関連事業各社

<https://members.imgu.or.jp/aa001/42349>



決勝大会を高田馬場グランドボウルにておこないました

9月18日に全国の予選会を通過した16チームで決勝大会を開催しました。決勝大会の結果は以下の通りです。

チームの部ベスト3



1st
1012pt

CLUB ATLETICO ISETANMENS
(三越伊勢丹新宿店)



2nd
939pt

IM YANKEES
(三越伊勢丹新宿店)



3rd
891pt

シン・昭和時代
(三越伊勢丹ビジネス・サポート)

個人の部ベスト3



1st
403pt

永田 和弘さん
(三越伊勢丹新宿店)



2nd
355pt

松田 翼さん
(三越伊勢丹新宿店)



3rd
326pt

土居 まゆ子さん
(高松三越)

グループで働く仲間の絆が深まりました

当日はボウリング終了後レセプションが行われ、仲間同士のきずなを深めました。



ライフキャリアプランセミナー（グループ全体の教育活動）について

労働組合と会社の共催で、月給制社員の方を対象に「ライフキャリアプランセミナー」を開催しています。30歳・40歳・50歳の節目の時期に、ライフとワークそれぞれの視点から他者との対話を通じて自己理解を深めることを目的とした内容です。



カリキュラム

	キャリア	マネー	健康
30歳	<p>三越伊勢丹グループ内だけでなく、社外へも通用するスキルの向上と視野の拡大を通じ、情報を得る。 カリキュラムのポイントは以下の2点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取り巻く環境、これまでのキャリアの振り返り、今後のキャリアプラン考察 ● 参加者とのコミュニケーションを通じて自身の強み・弱みを俯瞰し、課題解決に向けた学びにつなげる 	<p>30代に必要な お金の知識、 資産運用等</p>	<p>将来に向けた土台づくり 【未来の自分への健康投資】 オンでもオフでも高いパフォーマンスを発揮し続けられる生活習慣の習得</p>
40歳	<p>自分自身、また共に働く同僚に関わりのある育児・介護・疾病等の基本的な知識を習得し、気づきを得る。 カリキュラムのポイントは以下の1点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取り巻く環境、これまでのキャリアの振り返り、今後のキャリアプラン考察 	<p>40代に必要な お金の知識、 資産運用等</p>	<p>健康の棚おろし 【まだ間に合うアクティブ健康】 健康診断の結果と生活習慣の現状を比較して今からできる健康習慣を学ぶ</p>
50歳	<p>退職後を含めた今後の人生を豊かにするために、私生活の充実につながる知識・習慣・社会との繋がり、コミュニティづくりなどについて気づきを得る。 カリキュラムのポイントは以下の2点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これまでのキャリアの振り返り、今後のキャリアプラン考察 ● 仕事・趣味の両立 	<p>50代に必要な お金の知識、 資産運用等</p>	<p>健康マネジメント 【加齢に気付く】 老いに気づきマインドチェンジして20年先までハイパフォーマンスな健康の習得</p>



セミナーの様子

アンケート



労働組合の広報についてのアンケートをお願い致します。

FORMSアンケートリンク

⇒ <https://forms.office.com/r/DQN9jYYxKG>

① 在籍している支部を選択してください。

② 2025年11月発刊のIMGUメッセージについて、評価を教えてください。

(最高★4つ、最低★1つ)



③ ②の評価の理由について教えてください。

()

④ IMGUメッセージの全体的な感想があれば教えてください。

()

⑤ IMGUメッセージを読む際の方法について教えてください。

- スマホ パソコン
 タブレット 印刷して見ている

⑥ 今後IMGUメッセージで取りあげてほしい内容があれば教えてください。

()

⑦ 労働組合からの広報について、何を参考にしていますか。

- ホームページ Viva Engage LINE
 X (旧Twitter) IMGUメッセージ 社内掲示板(ポスターなど)
 その他 ()

⑧ 労働組合の広報物についてご要望があればお願いします。

()

IMGUメッセージ 2025年度版(第11期)

発行:2025年11月28日/発行人:玉谷謙一朗 発行所:三越伊勢丹グループ労働組合
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1階 TEL:03-5273-5165



三越伊勢丹グループ労働組合